

電子ポータブルタイプライター

WORDSHOT V

取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。
この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

brother


安全上のご注意

●以下に示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次の通りです。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷あるいは中程度の傷害を負う可能性が考えられることおよび物的損害のみが発生する可能性が考えられることを示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

	特定しない 禁止事項		分解しては いけません		水に濡らして はいけません		火気を近づけて はいけません
	特定しない 義務行為		電源プラグを 抜いてください		アースをつな いでください		
	特定しない 危険通告		感電の危険が あります		火災の危険が あります		

▲ 警告

電源コード



- ・指定された電圧 (100 V) 以外の電圧では使用しないでください。火災感電の原因になります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工しないでください。また、家具などの重いものを乗せたり無理に曲げないでください。火災・感電の原因になります。

異物が本機に入ったときは



- ・万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて「お買い上げの販売店またはサービスセンター」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解しないでください



- ・本機を分解、または改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検、調整、修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
(分解、改造により故障した場合、保障期間内でも有料修理となります。)

▲ 警告

水に濡らさないでください



- ・コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機にかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 万が一こぼしたときは、速やかに本機の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

異常状態で使用しないでください



- ・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて「お買い上げの販売店またはサービスセンター」に修理を依頼してください。
- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

袋をかぶらないでください



- ・本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。
- かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。

▲ 注意

電源コード



- ・電源コードを火気・熱機器に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因になることがあります。
- ・さし込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードが露出、断線して火災・感電の原因になることがあります。
- ・ぬれた手でさし込みプラグに触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・本機を清掃などのお手入れをされるときは、さし込みプラグを抜いてください。感電の恐れがあります。

上にものを置かないでください



- ・本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがをする恐れがあります。

タイプ中にキャリヤに手を入れないでください

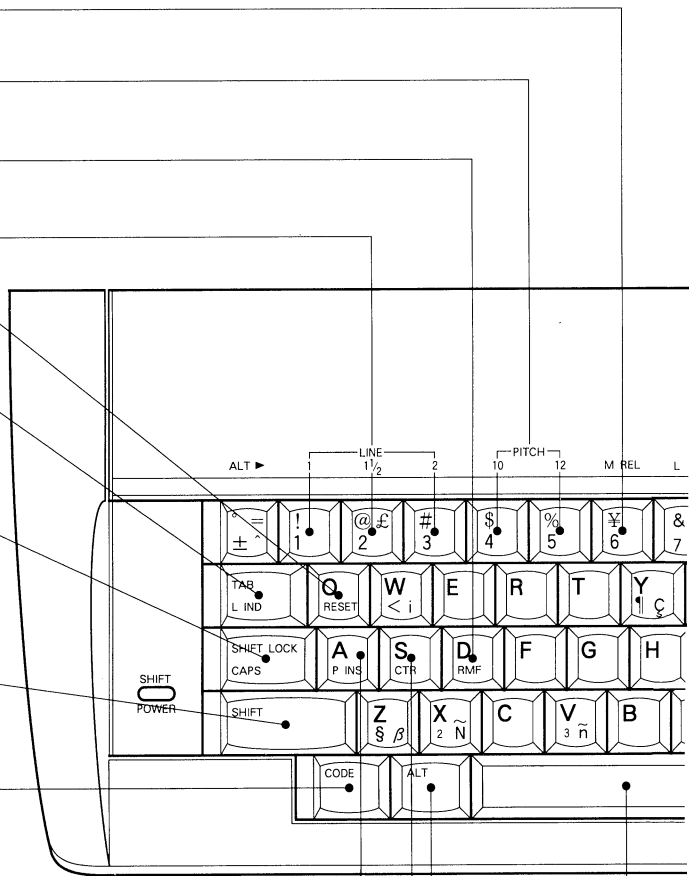


- ・タイプ中にキャリヤの中に手を入れないでください。けがをする危険があります。

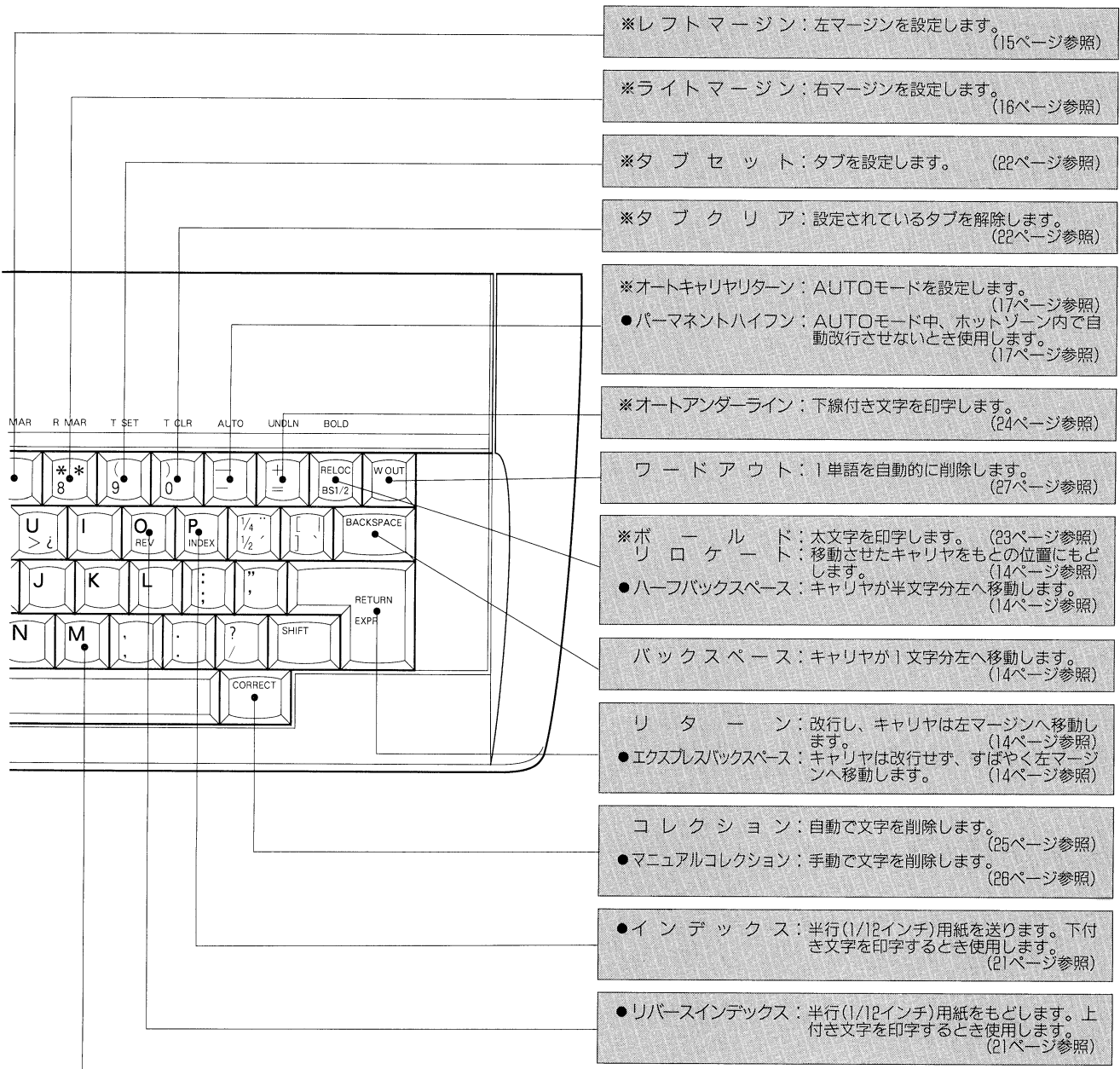
キーボード部の名称とはたらき



● WORDSHOT V のキーボード

- ※マージンリリース：マージンを一時的に解除します。
(15～16ページ参照)
- ※ピッチ：タイプピッチを設定します。
(12ページ参照)
- ライトマージンフラッシュ：右マージンで右寄せ印字します。
(24ページ参照)
- ※ラインスペース：用紙の送り量を設定します。
(12ページ参照)
- リセット：キャリヤを動かしたとき使用します。
(8ページ参照)
- タブ：タブへ移動します。
(22ページ参照)
- ラインインデント：キャリヤが右へ5文字分移動します。
(22ページ参照)
- シフトロック：アルファベットの大文字、またはキー上段の記号を連続印字するときに使用します。
(18ページ参照)
- キャプス：数字とアルファベットの大文字を連続印字するときに使用します。
(18ページ参照)
- シフト：一時的にアルファベットのの大文字またはキーの上段の記号を印字するときとシフトロックの解除に使用します。
(18ページ参照)
- コード：緑色で表示された記号やファンクションを使うとき使用します。コードキー併用時は、すべて先に押します。
- ペーパーインサート：自動的に用紙を挿入します。
(7ページ参照)
- センタリング：マージン間の中央に印字します。
(23ページ参照)
- アルト：LINE・PITCH・MREL・LMAR・RMAR・TSET・TCLR・AUTO・UNDLN・BOLDを設定します。
- スペース：キャリヤが1文字分右へ移動します。
(14ページ参照)
- パーマネントスペース：AUTOモード中、ホットゾーン内で自動改行させないとき使用します。
(17ページ参照)
- ビューー：ビューモードを設定します。
(27ページ参照)



- はコードキーを併用します。
- ※ はアルトキーを併用します。



注：1. 本文中、  などのキー操作図は、先にアルトキーやコードキーを押しながら次のキーを押してください。
2. このキーボードは英文仕様です。

目次

安全上のご注意	i ~ ii
キーボード部の名称とはたらき	1 ~ 2
機器構成(名称とはたらき)	5

第1章 基本操作

1. 電源スイッチ	6
●電源(ON)時のタイプライターの設定状態	6
2. 用紙の挿入	7
A. 自動挿入	7
B. 手動挿入	7
3. マージンスケール	8
4. トップカバー	8
5. リセットキー	8
6. デイジーホイールカセット	9
A. 取りはずし方	9
B. 取り付け方	9
7. カセットリボン	10
A. 取りはずし方	10
B. 取り付け方	10
8. コレクションテープ	11
A. 取りはずし方	11
B. 取り付け方	11
9. ラインスペース(行間を変えます)	12
10. ピッチ(文字間を変えます)	12
11. キーボードセレクター(キーボードを切り換えます)	13
●インターナショナルキーボード(キーの右側の文字がタイプできます)	13
●シンボルキーボード(特別な記号や数式などがタイプできます)	13
12. キャリヤ移動キー	14

第2章 基本機能

1. マージン(用紙に印字する左右幅です)	15
A. 左マージンの設定(印字する左端を設定します)	15
●現在の左マージンより右へ設定する場合	15
●現在の左マージンより左へ設定する場合	15
B. 右マージンの設定(印字する右端を設定します)	15
●現在の右マージンより左へ設定する場合	16
●現在の右マージンより右へ設定する場合	16
C. マージンの解除(印字する左右端を変えます)	16
2. ホットゾーン(右マージンから手前6文字分の範囲です)	17
3. AUTO(オートキャリヤリターン)モード(自動的に改行します)	17
A. AUTOモードの設定	17
●パーマネントスペースバー(ホットゾーン内でスペースを入れます)	17
●パーマネントハイフンキー(ホットゾーン内でハイフンを入れます)	17
B. AUTOモードの解除	17
4. シフト・シフトロック	18
A. シフト(アルファベットの大文字やキー上段の記号をタイプします)	18
B. シフトロック(アルファベットの大文字やキー上段の記号を続けてタイプします)	18
5. キャプス(数字とアルファベットの大文字を連続して印字します)	18
6. エクストラ文字(キーボード上の緑色の文字を印字します)	18
7. テッド文字(àなど、特殊な文字を印字します)	19

8. 重ね文字(㍑など、文字を重ねて印字します)	20
9. インデックス・リバースインデックス(用紙を送ったり、もどしたりします)	21
A. 紙送りをする場合	21
B. 上付き文字・下付き文字をタイプする場合	21
10. タブ(文章中、頭ぞろえで印字します)	22
A. タブの設定	22
B. タブの実施	22
C. タブの解除	22
●すべてのタブの解除	22
11. ラインインデント(自動的に5文字分のスペースを入れます)	22
12. センタリング(自動的にマージン間の中央に印字します)	23
A. センタリングの設定	23
B. センタリングの解除	23
13. ボールド(太文字を印字します)	23
A. ボールドの設定	23
B. ボールドの解除	23
14. ライトマージンフラッシュ(自動的に右寄せ印字します)	24
A. ライトマージンフラッシュの設定	24
B. ライトマージンフラッシュの解除	24
15. オートアンダーライン(下線付き文字を印字します)	24
A. オートアンダーラインの設定	24
B. オートアンダーラインの解除	24
16. コレクション(印字された文字を修正します)	25
A. オートコレクション(自動的に文字を修正します)	25
●ペーパーメーターの使い方(手動修正時の目安に使用します)	25
B. マニュアルコレクション(印字された文字を手動で修正します)	26
17. ワードアウト(1単語を自動的に削除します)	27
18. ビューモード(1/12インチ用紙を送り、タイプされた文字を見やすくします)	27
A. ビューモードの設定	27
B. ビューモードの解除	27

付 録

仕様	28
消耗品	28
タイプライターの手入れと注意	29
こんなときには(タイプライターが正常に作動しない場合)	29
レイアウト例	30
索引	30

機器構成 (名称とはたらき)

ブラテンノブ

用紙を手動で送るときに使用します。

キャリヤ

カセットリボン・デイジーホイールカセット・コレクションテープおよびハンマーユニットから構成され左右に移動する印字装置です。

ペーパーサポーター

ペーパーサポーターはキーボードカバーと共通です。キーボードカバーを本体の穴にさしこんでセットし、用紙をささえます。

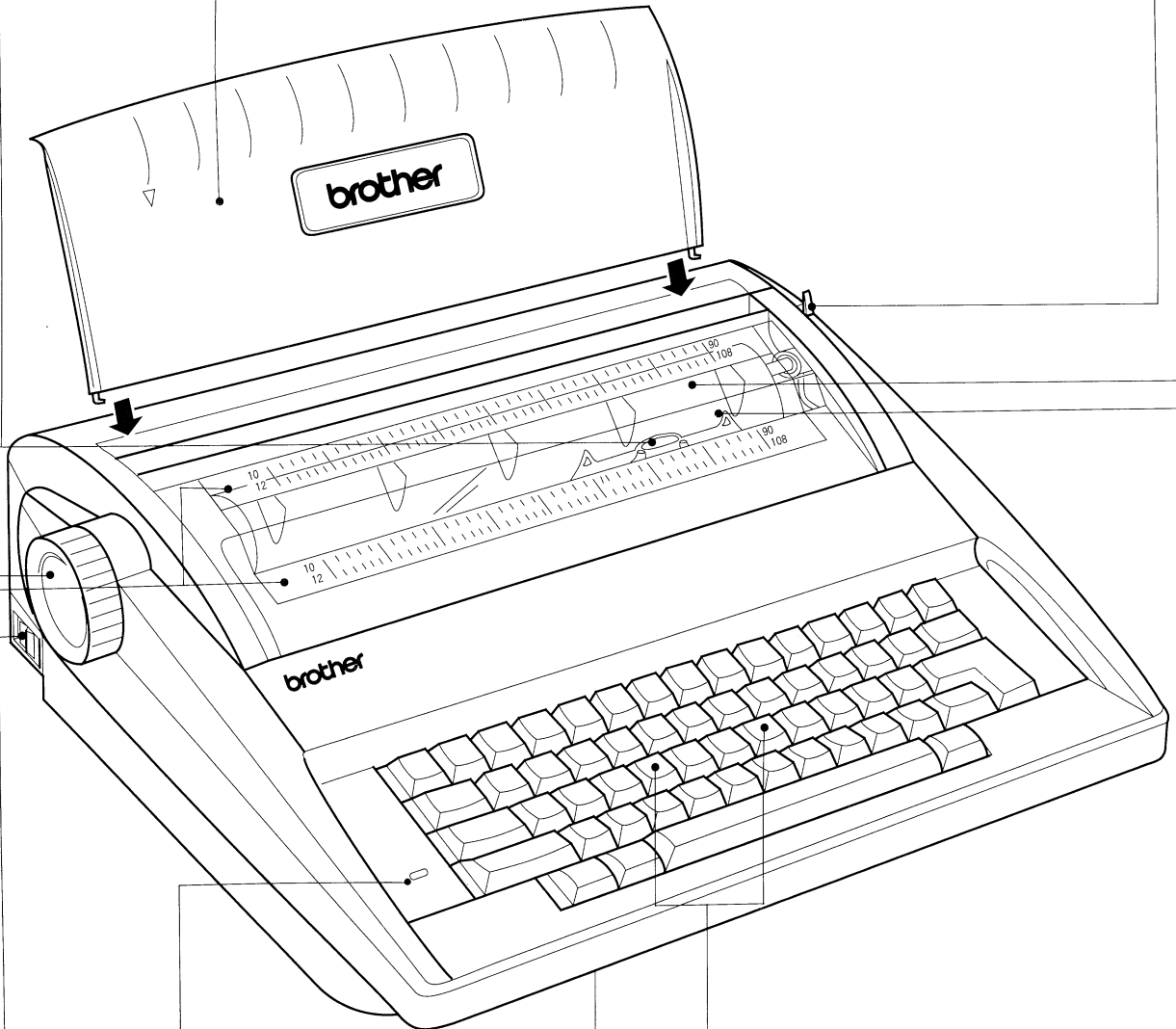
ブラテン

トップカバー

タイプ音をより一段と静かにし、異物の混入も防ぎます。

ペーパーリリースレバー

レバーをうしろ側へ倒すと用紙が自由に動きますので、まっすぐに調整することができます。



インジケター

電源スイッチを〈ON〉にするとランプが点灯します。シフト・シフトロック・キャプスの各モード中はランプが点滅します。

電源スイッチ

電源を〈ON〉・〈OFF〉にします。

マージンスケール

マージンスケールには、10・12の2種類のピッチスケールがあります。左右のマージンの位置やタイプ位置の目安になります。

マストキー

ホームポジションの位置が、凸部によってわかります。



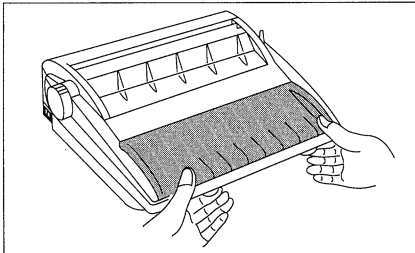
凸部

キャリングハンドル(裏面)

持ち運びに便利です。

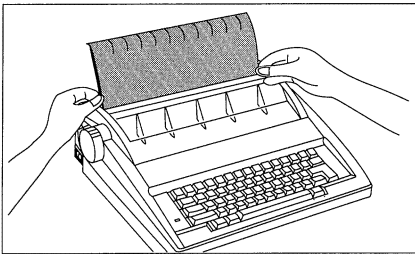
第1章 基本操作

1.電源スイッチ

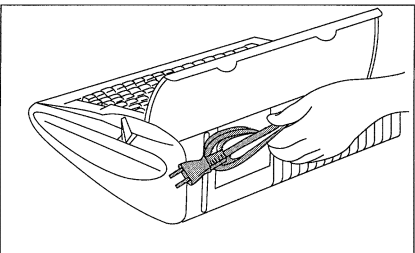


① キーボードカバーの手前の左右に張り出したフックを引き上げながら、上方へ取りはずします。

注：お使いにならない場合は、キーボードカバーを装着しておいてください。装着する場合は、先に奥(ブラテン側)からセットします。

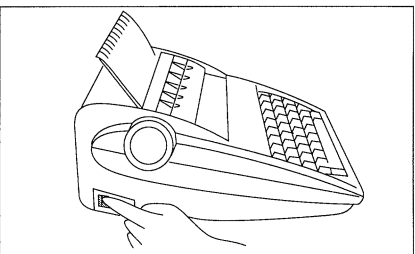


② ペーパーサポーターとキーボードカバーは共通です。キーボードカバーを本体の穴にさしこんでセットし、ペーパーサポーターとして使用します。



③ 本機のうしろ側にある電源コードを、電源コード収納部から取り出し、電源プラグをコンセントに接続します。

注：お使いにならない場合は、電源コードを収納しておきます。



④ 本機の左側にある電源スイッチを〈ON〉にします。キャリヤが左端に自動的に移動したあと、10文字分右に移動して止まります。

注：1. お買い上げ後、初めてご使用になる場合は、タイプライター内の固定材を取りはずしてください。取りはずし方は、タイプライターの梱包箱に印刷されているイラストをご参照ください。

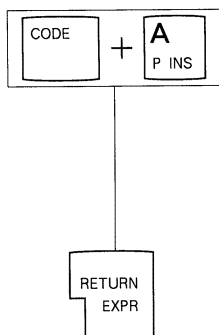
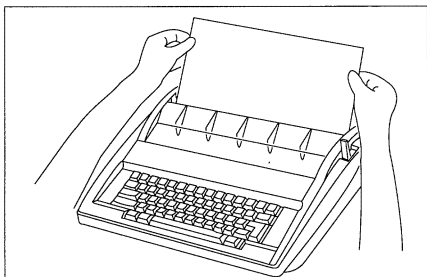
2. 作動しない場合は、〈こんなときには〉(29ページ)を参照してください。

●電源〈ON〉時のタイプライターの設定状態

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 文字ピッチ……………10 | 4. タブの位置……………設定なし |
| 2. ラインスペース……………1 | 5. AUTOモード……………設定なし |
| 3. 左右のマージンの位置…左マージン：10 | 6. ビューモード……………設定なし |
| 右マージン：75 | |

2. 用紙の挿入

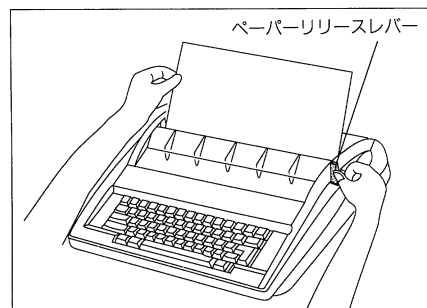
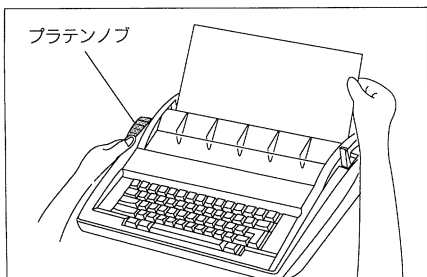
用紙は自動挿入・手動挿入することができます。



A. 自動挿入

- ① 用紙をペーパーサポーターにそって差し込みます。
- ② コードキーを押しながらペーパーインサートキーを押すと、キャリヤは中央に移動し、最初の印字行まで、用紙が送られます。
注：1. 上部余白は1インチに設定されています。
2. 用紙がゆがんだときは、ペーパーリリースレバーをうしろ側へ倒し用紙を直します。
3. 印字位置を変更したいときは、コードキーを押しながらインデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、印字したい位置まで用紙を移動させます。
- ③ リターンキーを押して、キャリヤを左マージンへ移動させます。

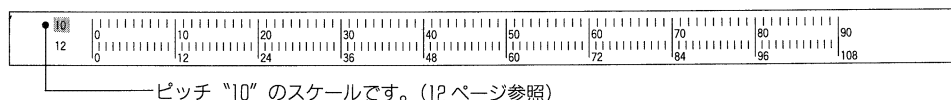
B. 手動挿入



- ① 用紙をペーパーサポーターにそって差し込みます。
- ② プラテンノブを回して用紙をプラテンに巻き込ませます。
注：コードキーを押しながらインデックスキーを押しても用紙の挿入ができます。
- ③ ペーパーリリースレバーをうしろ側へ倒します。
- ④ 用紙の角と角をそろえ、用紙を平行に直してからペーパーリリースレバーをもどします。
- ⑤ プラテンノブを回して、タイプしたい位置へ用紙をもどします。

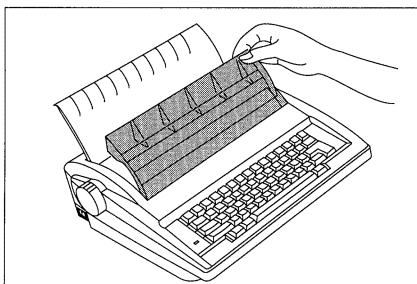
3. マージンスケール

10・12の2種類のピッチスケールがあり、タイプを目安に使うと便利です。



ピッチ“10”のスケールです。(12ページ参照)

4. トップカバー

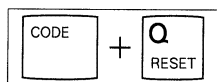


このカバーはタイプ音をより一段と静かにし、異物の混入を防ぎます。また、用紙を押さえるペーパーベイルのはたらきもし、用紙がスムーズに挿入できます。通常はこのカバーを閉めたままご使用ください。

- 注：1. 厚い用紙やコシの強い用紙で印字する場合は、トップカバーの両端を持ち、手前に開き用紙を挿入します。挿入後は、トップカバーを閉じます。
2. キャリヤを手で動かさないでください。動いた場合は、コードキーを押しながらリセットキーを押してください。キャリヤはもとの位置にもどります。

5. リセットキー

キャリヤを動かしたときは、必ずリセットキーを押してください。



コードキーを押しながらリセットキーを押します。キャリヤが左端に移動したあとデジタイールカセットが回転し、もとの位置にもどります。

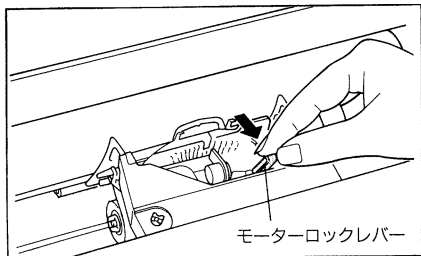
- 注：1. トップカバーを開閉してデジタイールカセット・カセットリボン・コレクションテープを交換したときや、キーボードセレクターを切り換えたとき、キャリヤを手で動かしたときなどは、必ずコードキーを押しながらリセットキーを押してください。
2. コードキーを押しながらリセットキーを押しても、マージンの位置・タブの位置・オートコレクションは保護されています。

6. デイジーホイールカセット

デイジーホイールカセットはすでに入っています。異なるタイプフェースのデイジーホイールカセットを交換する場合でも、その操作はとても簡単です。

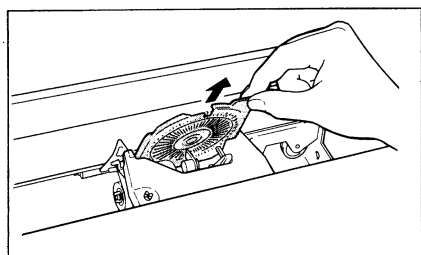
A. 取りはずし方

- ① トップカバーを開け、モーターロックレバーを手前に引きます。



- ② デイジーホイールカセットの右端のつまみを引き上げます。

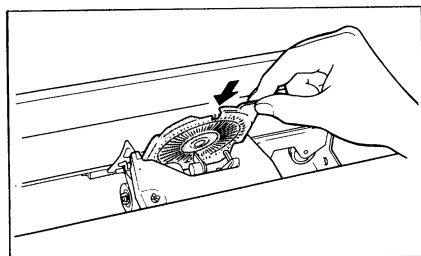
注：1. デイジーホイールカセットを取りはずすときは、カセットリボンを取りはずす必要はありません。
2. デイジーホイールカセットの交換中は、キーボードにさわらないでください。



B. 取り付け方

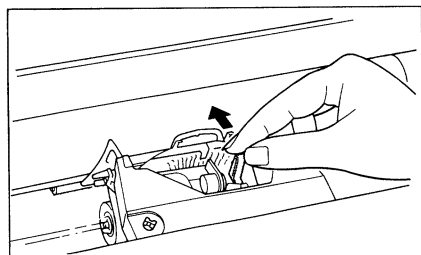
- ① デイジーホイールカセットのつまみを持ってカセットのセット部に入れ、確実に押し込みます。

注：デイジーホイールカセットのつまみは、必ず右側にくるようにセットしてください。



- ② モーターロックレバーを、プラテン側にカチッと音がしてロックされるまで確実に押します。

- ③ トップカバーを閉め、コードキーを押しながらリセットキーを押します。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。



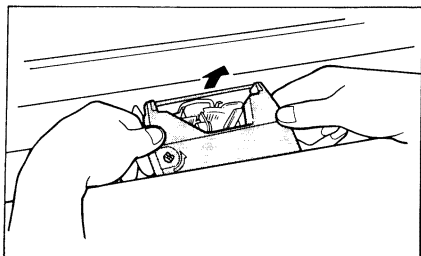
注：1. デイジーホイールカセットのロックが不十分ですと、正しく印字されませんので確実にセットしてください。

2. デイジーホイールカセットをセットしていない状態で、モーターロックレバーをプラテン側へ押さないでください。

7.カセットリボン

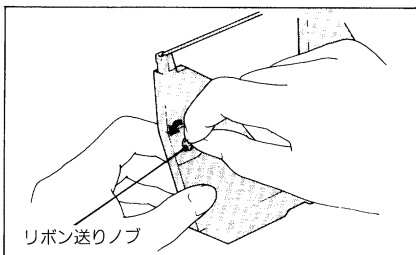
カセットリボンは、コレクタブルカーボンリボンとナイロンリボンがあり、手を汚さず簡単にセットできます。

A. 取りはずし方

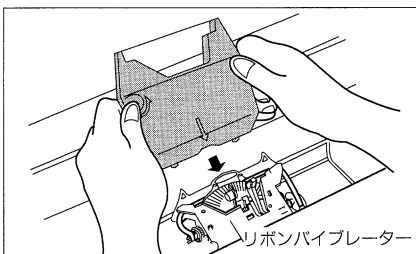


- ① スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
- ② トップカバーを開け、カセットリボンを両手で持ち、リボン側を先に持ち上げて取りはずします。

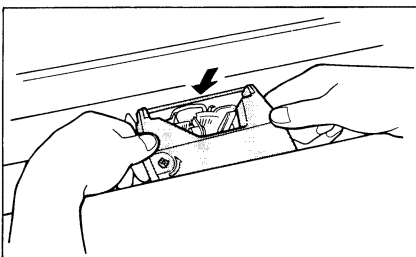
B. 取り付け方



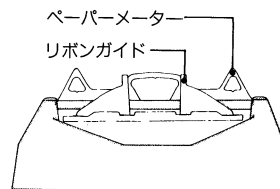
- ① 新しいカセットリボンのリボン送りノブを左へ回し、リボンのたるみを取ります。
注：カセットリボンの交換中は、キーボードにさわらないでください。



- ② リボンバイプレーターの矢印に、カセットリボンの矢印を合わせて取り付けます。



- ③ リボンをペーパーメーターとリボンガイドの間に通し、上から軽くカチッと音がするまで押さえます。リボン送りノブを左へ回して、たるみを取ります。



- ④ トップカバーを閉め、コードキーを押しながらリセットキーを押します。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注：1. カセットリボンの上に小窓があり、リボンの残量がわかります。

2. カセットリボンには次の2種類があります。(カセットリボンは当社の製品をお使いください)

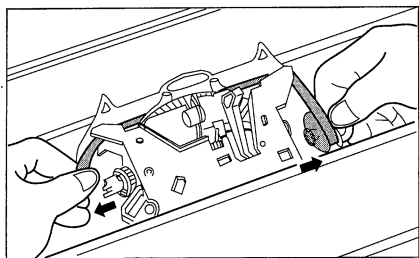
- コレクタブルカーボンリボン(購入時に装着されています。リフトオフコレクションテープにより、きれいなコレクションができます。)
- ナイロンリボン(コレクタブルカーボンリボンの約10倍の文字数がタイプできます。)

※コレクション機能を使用しないで長時間ご使用になる場合は、コレクションテープを取りはずしてお使いください。

8. コレクションテープ

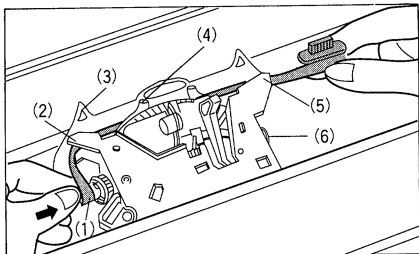
コレクションテープにより、文章がスムーズに訂正できます。

A. 取りはずし方

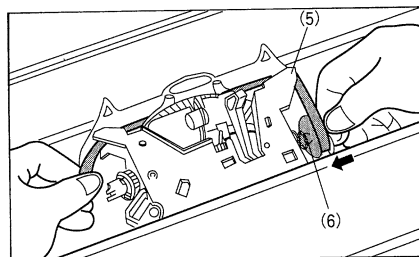


- ① スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
- ② トップカバーを開け、カセットリボンを取りはずします。
- ③ コレクションテープの左右のスプールをキャリヤから引き抜きます。
注：コレクションテープの交換中は、キーボードにさわらないでください。

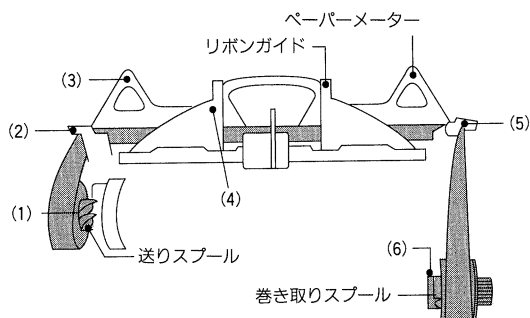
B. 取り付け方



- ① 送りスプールを左の軸(1)に取り付け、テープの粘着面をプラテンに向けて、テープを左のコレクションテープガイド(2)、ペーパーメーター(3)とリボンガイド(4)の間、右のコレクションテープガイド(5)の順に通します。



- ② 巻き取りスプールを右の軸(6)に取り付けます。



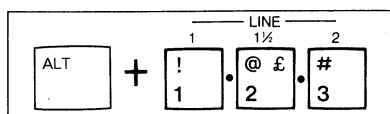
- ③ スプールを手前に回して、白いテープが右のスプールにくるまで巻き取ります。
- ④ カセットリボンを取り付けます。
- ⑤ トップカバーを閉め、コードキーを押しながらリセットキーを押します。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注：コレクションテープは次の2種類があります。(コレクションテープは当社の製品をお使いください。)

- リフトオフコレクションテープ(購入時に装着されています。コレクタブルカーボンリボンと、ともにお使いください。)
- カバーラップコレクションテープ(ナイロンリボンと、ともにお使いください。)

9. ラインスペース

ラインスペースとは、リターンキーを押した場合の行送り量のことです。3種類(1行、1行半、2行)の行送りが設定できます。



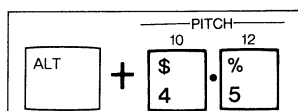
アルトキーを押しながらラインスペースキーを押して切り換えます。
電源スイッチを<ON>にすると、ラインスペースは必ず<1>に設定されます。ラインスペースキーを押すとラインスペースが変わります。
リターンキーを押すと用紙は設定した行間で行送りされ、キャリヤは左マージンまで移動します。

ラインスペース	送り量
1	1行 (1/6)
1½	1行半 (1/4)
2	2行 (1/3)

()インチ

10. ピッチ

ピッチとは、1インチ(約2.5cm)内に印字できる文字数のことです。2種類(10、12)のピッチが選べます。



アルトキーを押しながらピッチキーを押して切り換えます。
電源スイッチを<ON>にすると、ピッチは必ず<10>に設定されます。
ピッチキーを押すとピッチが変わります。

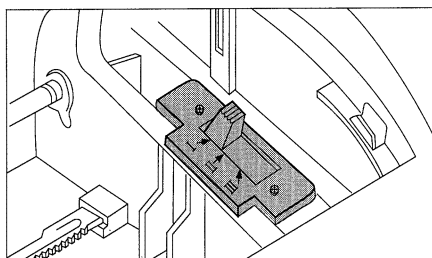
ピッチ	1インチ内の印字文字数	1行内の最大印字文字数
10(パイカ)	10文字	90文字
12(エリート)	12文字	108文字

- 注：1. ピッチを変更するときは、リターンキーを押し、キャリヤを左にもどして行ってください。
2. ピッチに合ったデイジーホイールカセットを使用されますと、より美しい印字ができます。

11. キーボードセクター

キーボードセクターは3種類の切り換えがあり、作成したい文章によってデジタイールカセットを選び、キーボードセクターを切り換えます。

注：キーボードセクターを切り換えたあとは、必ずコードキーを押しながらリセットキーを押してください。



I…通常は、この位置にセットします。
ただし、左右に文字があるキーの場合は左側の文字がタイプされます。

II…左右に文字があるキーの右側の文字をタイプしたい場合は、インターナショナルのデジタイールカセット(別売り)に換え、この位置にセットします。

注：カナ英文コンビ仕様のキーボードセクター(II)は、英文のインターナショナルキーボード(英文の配列のキーの右半分)になります。

III…特別な記号や数式などをタイプしたい場合は、シンボルのデジタイールカセット(別売り)に換え、この位置にセットします。

仕様	英文				カナ英文コンビ							
例	@ £ 2		[] `		Y Y ¶ §		2 フ		() `		Y \$ §	
キーボードセクターの位置	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
シフト	@	£	[Y	Y	2	£	(Y	Y
ノンシフト	2	£]	`	y	y	フ	2)	`	ン	y
シフト無関係コードキー併用					¶	§					\$	§

●インターナショナルキーボード

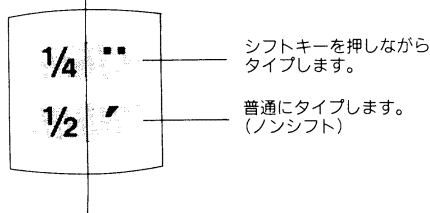
キーボードセクターを(II)にセットすると、キーボードは右図のようになり、キーの右側の文字を印字します。ただし、インターナショナルのデジタイールカセット(別売り)が必要です。

注：英語・ドイツ語・フランス語と一部のスペイン語がタイプできます。



キーボードセクター (I) キーボードセクター (II)

□ … デッドキー
■ … コードキー併用



●シンボルキーボード

キーボードセクターを(III)にセットすると、キーボードは右図のようになります。ただし、シンボルのデジタイールカセット(別売り)が必要です。

注：シンボルのデジタイールカセットに付いている、キーシールを貼ってください。



□ … デッドキー
■ … コードキー併用

12. キャリヤ移動キー

キャリヤを移動させるには、下記のキーが有効となります。

(スペースバー)

スペースバー……………キャリヤが1文字分右に移動します。

CODE + (スペースバー)

パーマネントスペースバー……………キャリヤが1文字分右に移動します。
ホットゾーン内でスペースをいれたいときに使用します。

BACKSPACE

バックスペースキー……………キャリヤが1文字分左に移動します。

CODE + RETURN
EXPR

エクस्प्रेसバックスペースキー……改行せず、キャリヤが左マージンに移動します。

CODE + RELOC
BS1/2

ハーフバックスペースキー……………キャリヤが半文字分左に移動します。

RETURN
EXPR

リターンキー……………改行し、キャリヤが左マージンに移動します。

CODE + P
INDEX

インデックスキー……………1/12インチ用紙を送ります。

CODE + O
REV

リバースインデックスキー……………1/12インチ用紙をもどします。

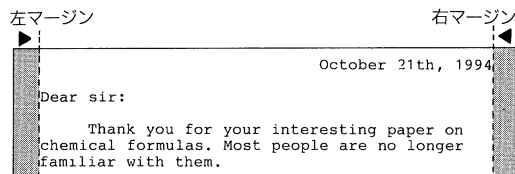
RELOC
BS1/2

リロケートキー……………キャリヤが行末に移動します。

第2章 基本機能

1. マージン

用紙に印字する左右幅をマージンといい、左端を左マージン、右端を右マージンと呼びます。



A. 左マージンの設定

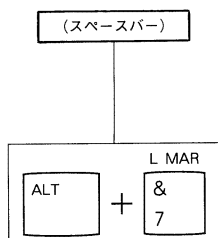
文章の左端を設定します。

●現在の左マージンより右へ設定する場合

- ① 左マージンをどこに設定するかを決めて、その新しい位置へスペースバーを押して、キャリヤを移動させます。

注：キャリヤが右へ行き過ぎた場合は、バックスペースキーでもどしてください。

- ② アルトキーを押しながらレフトマージンキーを押すと、新しい左マージンが設定されます。以後、リターンキーを押すたびに、この新しい左マージンにキャリヤはもどります。



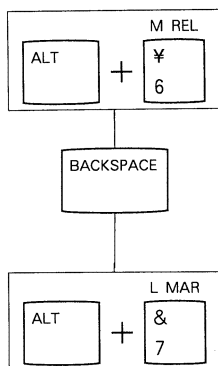
●現在の左マージンより左へ設定する場合

- ① キャリヤを現在設定されている左マージンまで移動させ、アルトキーを押しながらマージンリリースキーを押して、左マージンを一時的に解除します。

- ② バックスペースキーを押して、新しい位置へキャリヤを移動させます。

注：キャリヤが左へ行き過ぎた場合は、スペースバーでもどしてください。

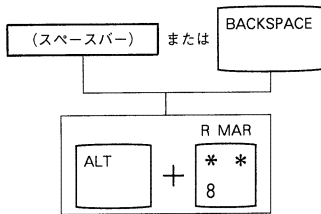
- ③ アルトキーを押しながらレフトマージンキーを押すと、新しい左マージンが設定されます。以後、リターンキーを押すたびに、この新しい左マージンにキャリヤはもどります。



B. 右マージンの設定

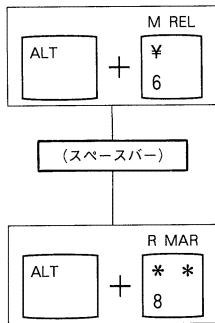
文章の右端を設定します。

●現在の右マージンより左へ設定する場合



- ① 右マージンをどこに設定するかを決めて、その新しい位置へスペースバー、またはバックスペースキーを押して、キャリヤを移動させます。
- ② アルトキーを押しながらライトマージンキーを押すと、新しい右マージンが設定されます。

●現在の右マージンより右へ設定する場合



- ① キャリヤを現在設定されている右マージンまで移動させ、アルトキーを押しながらマージンリリースキーを押して、右マージンを一時的に解除します。
- ② スペースバーを押して、新しい位置へキャリヤを移動させます。
注：キャリヤが右へ行き過ぎた場合は、バックスペースキーでもどしてください。
- ③ アルトキーを押しながらライトマージンキーを押すと、新しい右マージンが設定されます。

注：右マージンを現在のホットゾーン内および、右マージンの外に設定する場合は、AUTOモード(17 ページ参照)を解除してから設定してください。

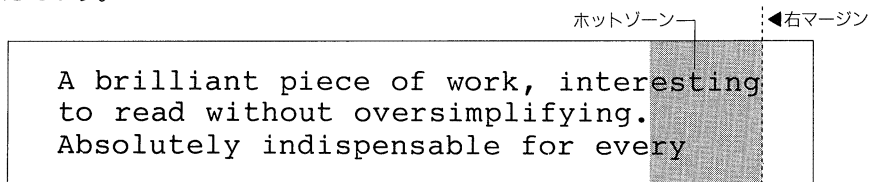
C. マージンの解除

新たにマージンを設定すると、前に設定されたものは解除されます。

- 注：1. 電源スイッチを(ON)にすると、左右マージン位置は、左マージン(10)、右マージン(75)の位置に設定されます。
2. 左右のマージンは、どこにでも設定できます。しかし、2 インチ未満の間隔でマージンを設定しようとすると、電子音が鳴り設定できません。2 インチの間隔とは、10 ピッチ(パイカ)のときは 20 文字、12 ピッチ(エリート)のときは 24 文字です。
3. マージンを越えてタイプする場合は、アルトキーを押しながらマージンリリースキーを押してください。マージンリリースキーは、キャリヤが左マージン、または右マージンの位置にあり、押した直後のみ有効です。

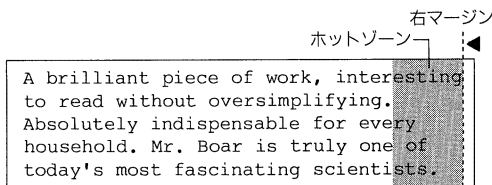
2.ホットゾーン

右マージンから手前6文字分をホットゾーンと呼び、キャリヤがホットゾーンに入ったとき電子音が鳴り、右マージンに近づいていることを知らせます。

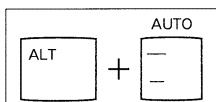


3.AUTO(オートキャリヤリターン)モード

ホットゾーン内で自動改行するので改行の手間を省き、タイプ能率を高めます。

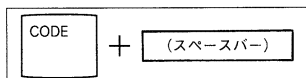


A. AUTOモードの設定



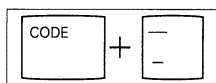
アルトキーを押しながらオートキャリヤリターンキーを押すと電子音が2回鳴り、AUTOモードになります。ホットゾーン内でスペースバーを押すと、自動改行して左マージンへ移動します。単語をハイフンでつなぐ場合も、やはりハイフンキーを押すと自動改行して、キャリヤは左マージンへ移動します。

●パーマネントスペースバー



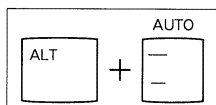
自動改行をせず、ホットゾーン内でスペースを入れたい場合は、パーマネントスペースバー(コードキーを押しながらスペースバー)を押します。

●パーマネントハイフンキー



自動改行をせず、ホットゾーン内でハイフンをタイプしたい場合は、パーマネントハイフンキー(コードキーを押しながらハイフンキー)を押します。

B. AUTOモードの解除

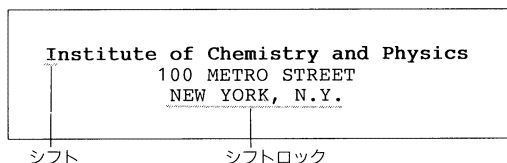


もう一度、アルトキーを押しながらオートキャリヤリターンキーを押すと解除されます。

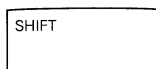
- 注：1. 文章をタイプ中、単語の最後の文字をタイプしたあと右マージンへ到達した場合は、そのあとのスペースバーでは自動改行しませんから、リターンキーを押して改行させます。
2. 文章をタイプ中、単語の途中で右マージンへ到達した場合は、コレクションキーを押してもどってからハイフンキーを押すか、アルトキーを押しながらマージンリリースキーを押して、残りの文字をタイプしてから改行します。

4.シフト・シフトロック

シフトキーを押しながらタイプすると、アルファベットの太文字やキー上段の記号を印字します。シフトロックキーを使用すると、シフトロックを解除するまでアルファベットの太文字やキー上段の記号をタイプし続けることができます。



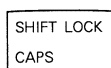
A. シフト



アルファベットの太文字やキー上段の記号を、一時的にタイプする場合はシフトキーを押しながらタイプします。

シフトキーは左右にあり、押している間はインジケータがゆっくり点滅します。

B. シフトロック



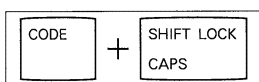
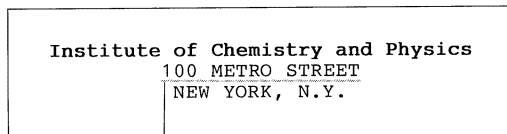
アルファベットの太文字やキー上段の記号を続けてタイプしたい場合はシフトロックキーを押します。シフトロックキーを押すと、インジケータがゆっくり点滅します。

シフトロックを解除する場合は、シフトキーを押します。インジケータは点滅から点灯にかかります。

注) カナ英文コンピ仕様の場合は、アルファベットの太文字や数字がタイプできます。

5.キャプス

キャプスキーを使用すると、数字とアルファベットの太文字が同時に連続してタイプできます。



コードキーを押しながらキャプスキーを押すと、インジケータが速く点滅します。

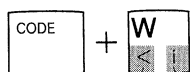
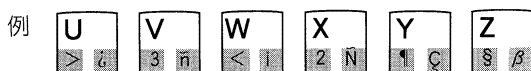
キャプスを解除する場合は、もう一度コードキーを押しながらキャプスキーを押します。インジケータは点滅から点灯にかかります。

注：1. キー上段の記号をタイプしたい場合は、シフトキーを押しながらタイプします。

2. カナ英文コンピ仕様の場合は、キーボードセレクターを(II)に切り換え、国際的なデザインホイールカセット(別売り)に交換してからタイプしてください。(13ページ参照)

6.エクストラ文字

文字キーのエクストラ文字(緑色の文字)をタイプします。



キーボード
セレクター<I> キーボード
セレクター<II>

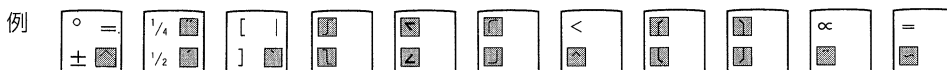
コードキーを押しながらエクストラ文字キーを押します。

注：キーの右側の緑色の文字を印字したいときは、国際的なデザインホイールカセット(別売り)に交換し、キーボードセレクターを(II)に切り換えてからタイプしてください。(13ページ参照)

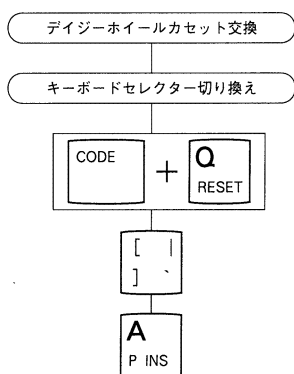
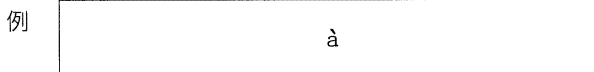
7. デッド文字

デッドキーを押すと、キャリヤは移動せず、続いてほかのキーを押したときに、キャリヤは移動します。特殊な文字や記号をタイプしたいときに使用します。

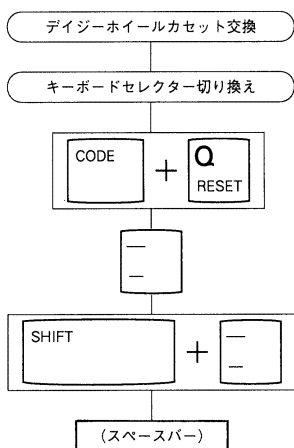
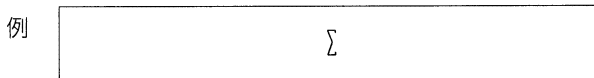
デッドキー




下記のようなデッド文字をタイプしたいときは、次の順序で操作します。



- ① インターナショナルのデイジーホイールカセット(別売り)をセットします。
- ② キーボードセクターを(II)に切り換えます。
- ③ コードキーを押しながらリセットキーを押します。
- ④ デッドキー([|])を押します。
- ⑤ 文字キー“A”を押します。“à”がタイプされ、キャリヤが移動します。

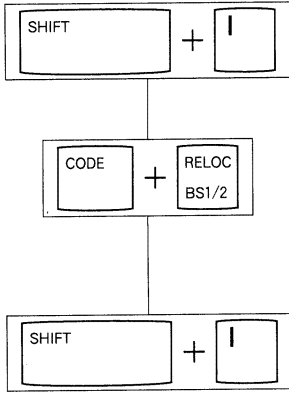


- ① シンボルのデイジーホイールカセット(別売り)をセットします。
- ② キーボードセクターを(III)に切り換えます。
- ③ コードキーを押しながらリセットキーを押します。
- ④ デッドキー(- -)を押します。
- ⑤ デッドキー( + - -)を押します。
- ⑥ スペースバーを押します。“Σ”がタイプされ、キャリヤが移動します。

8.重ね文字

バックスペースを活用して、文字を重ねてタイプすることができます。

例



① シフトキーを押しながら文字キー“1”を押します。

▲ キャリヤの位置

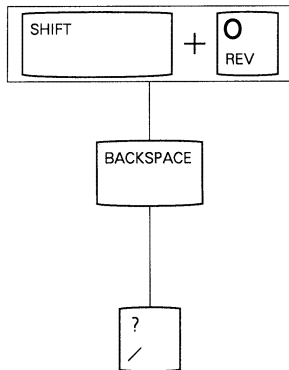
② コードキーを押しながらハーフバックスペースキーを押します。キャリヤが半文字分左に移動します。

▲△

③ シフトキーを押しながら文字キー“1”を押します。

▲△

例



① シフトキーを押しながら文字キー“O”を押します。

▲ キャリヤの位置

② バックスペースキーを押します。キャリヤが1文字分左に移動します。

▲△

③ 記号“/”を押します。

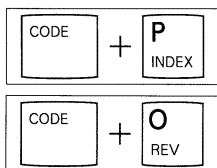
▲△

注：後からタイプした文字はオートコレクションで削除できますが、先にタイプした文字はマニュアルコレクションで削除してください。(25～26ページ参照)

9. インデックス・リバーズインデックス

キャリアの位置に関係なく用紙を送ったり、もどしたりすることができます。
指数や化学記号などの上付き文字・下付き文字の印字に便利です。

A. 紙送りをする場合



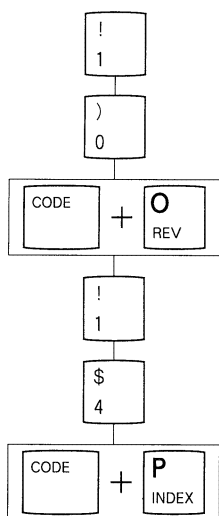
コードキーを押しながらインデックスキーを押すと、半行(1/12 インチ)用紙が送られます。

コードキーを押しながらリバーズインデックスキーを押すと、半行(1/12 インチ)用紙がもどされます。

注：インデックスキー、またはリバーズインデックスキーを同方向へ2回以上押すとオートコレクション機能ははたらきません。その際電子音が2回鳴ります。

B. 上付き文字・下付き文字をタイプする場合

例 10¹⁴



① 数字キー“1”を押します。

② 数字キー“0”を押します。

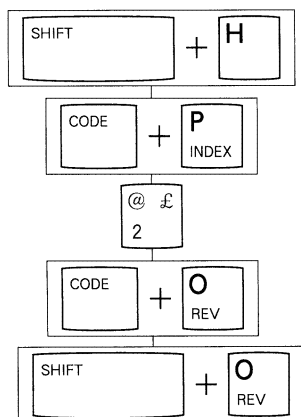
③ コードキーを押しながらリバーズインデックスキーを押します。用紙が半行分もどります。

④ 数字キー“1”を押します。

⑤ 数字キー“4”を押します。

⑥ コードキーを押しながらインデックスキーを押します。用紙が半行分送られます。

例 H₂O



① シフトキーを押しながら文字キー“H”を押します。

② コードキーを押しながらインデックスキーを押します。用紙が半行分送られます。

③ 数字キー“2”を押します。

④ コードキーを押しながらリバーズインデックスキーを押します。用紙が半行分もどります。

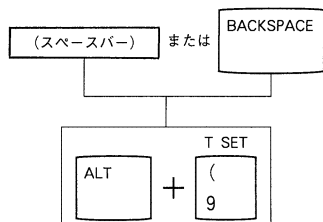
⑤ シフトキーを押しながら文字キー“O”を押します。

10.タブ

伝票や表の形式に合わせて、頭ぞろえでタイプする場合に便利な機能です。この場合、スペースバーまたはバックスペースキーを使うかわりに、タブキーを押すと、印字したい位置へキャリヤは移動します。

タブ		
Item	Suggestion	Page/Line
volume II	ivolume III	25/15

A. タブの設定



① スペースバーまたはバックスペースキーを押して、タブを設定したい位置にキャリヤを移動させます。

② アルトキーを押しながらタブセットキーを押して、タブを設定します。

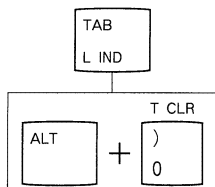
注：1行内に最大8箇所までタブを設定できます。9箇所以上のタブを設定しようとした場合は、電子音が鳴りそれ以上設定できません。

B. タブの実施



タブキーを押すと、すぐ右のタブ位置までキャリヤは移動します。また、タブが設定されていない場合は右マージンまで移動します。

C. タブの解除



① タブキーを押して、解除したいタブ位置にキャリヤを移動させます。

② アルトキーを押しながらタブクリアキーを押します。

注：アルトキーを押しながらタブクリアキーを押し続けると、すべてのタブが解除されます。

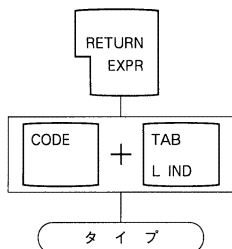
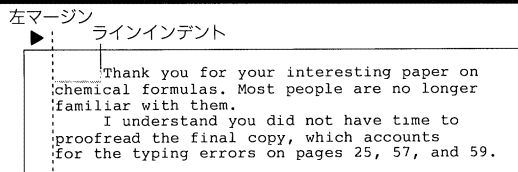
●すべてのタブの解除

一度にすべてのタブを解除するには、アルトキーを押しながらタブクリアキーを電子音が3回鳴るまで押し続けます。

注：キャリヤがどの位置にあってもタブは解除できます。

11.ラインインデント

手紙などをタイプする場合、最初の行を5文字分あけることがあります。この場合、スペースバーを押すかわりにラインインデントキーを使用すると便利です。



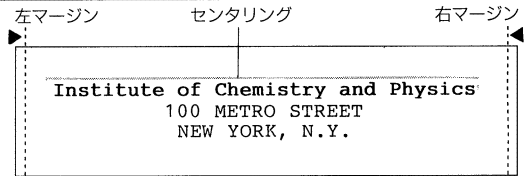
① リターンキーを押して、キャリヤを左マージンに移動させます。

② コードキーを押しながらラインインデントキーを押すと、キャリヤは5文字分右へ移動します。

③ 文章をタイプします。

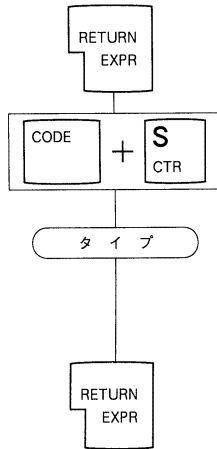
12. センタリング

見出しやタイトルをマージン間にスペースの数を数えることなく、自動的に中央に印字することができます。



A. センタリングの設定

- ① リターンキーを押して、キャリヤを左マージンに移動させます。
- ② コードキーを押しながらセンタリングキーを押すと、キャリヤは自動的にマージン間の中央位置まで移動します。
注：キャリヤが左マージンにない場合は、電子音が鳴りセンタリングできません。
- ③ 文章をタイプします。タイプされた文章は、直接印字されずタイプするたびにキャリヤは左に半文字ずつ移動します。
注：タイプした文字を消去したい場合はコレクションキーまたはワードアウトキーを押してください。
- ④ リターンキーを押すと、印字後改行します。

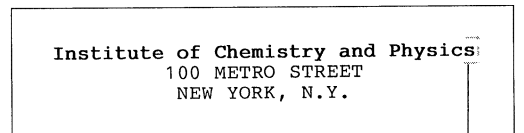


B. センタリングの解除

- もう一度、コードキーを押しながらセンタリングキーを押すと、キャリヤは左マージンへもどり解除されます。
- 注：文章をタイプしている途中でセンタリングの解除を行いたい場合は、コレクションキーを押して、タイプした文字を消去してからセンタリングの解除を行ってください。

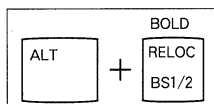
13. ボールド

太文字を印字することができます。



A. ボールドの設定

- アルトキーを押しながらボールドキーを押すと電子音が2回鳴り、次に印字する文字・記号は太文字で印字されます。



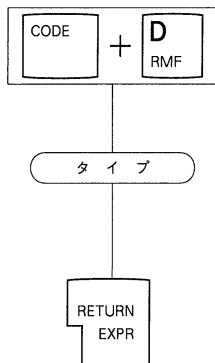
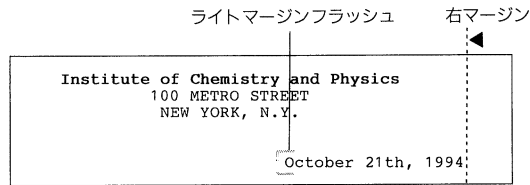
B. ボールドの解除

- もう一度、アルトキーを押しながらボールドキーを押すと解除されます。

注：センタリング・ライトマージンフラッシュモード中は、設定・解除の切り換えはできません。

14. ライトマージンフラッシュ

語句を右マージンで右寄せ印字します。日付などのタイプに便利です。



A. ライトマージンフラッシュの設定

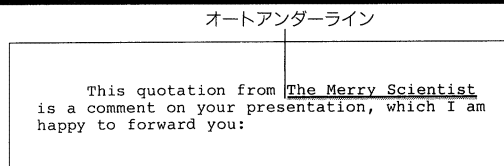
- ① コードキーを押しながらライトマージンフラッシュキーを押すと、キャリヤは自動的に右マージンまで移動します。
- ② 文章をタイプします。タイプされた文章は、直接印字されずタイプするたびにキャリヤは左に1文字ずつ移動します。
注：タイプした文字を消去したい場合は、コレクションキーまたはワードアウトキーを押してください。
- ③ リターンキーを押すと、印字後改行します。

B. ライトマージンフラッシュの解除

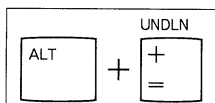
- もう一度、コードキーを押しながらライトマージンフラッシュキーを押すと、キャリヤはもとの位置にもどり解除されます。
- 注：文章をタイプしている途中でライトマージンフラッシュの解除を行いたい場合は、コレクションキーを押して、タイプした文字を解除してからライトマージンフラッシュの解除を行ってください。

15. オートアンダーライン

文章に下線を引きたい場合に使用し、文字とアンダーラインが同時に印字されます。



A. オートアンダーラインの設定



- アルトキーを押しながらオートアンダーラインキーを押すと電子音が2回鳴り、スペースを含めて文章全体にアンダーラインが引かれます。

B. オートアンダーラインの解除

- もう一度、アルトキーを押しながらオートアンダーラインキーを押すと、解除されます。

注：AUTOモード中、ホットゾーン内でスペースバーを押した場合は、アンダーラインは引かれませんが、

16. コレクション

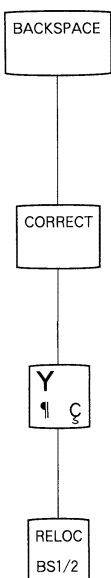
印字された文字を簡単に削除し、修正することができます。オートコレクションとマニュアルコレクションの2通りの方法があります。

A. オートコレクション

タイプ中の1行(オートコレクション領域)は、コレクションキーで自動的に修正することができます。

My friendly Brother electronic tipewriter
キャリヤの位置 $\longrightarrow \blacktriangle$

上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとで、リターンキーは押さないでください。“tipewriter”の“i”を“y”に修正します。



① My friendly Brother electronic tipewriter
 $\blacktriangle \longleftarrow \longrightarrow \blacktriangle$

バックスペースキーを押して、キャリヤを修正しようとする単語の文字に移動させます。“tipewriter”という単語の“i”という文字の部分です。

② My friendly Brother electronic t pewriter
 \blacktriangle

コレクションキーを押すと、“i”の文字が用紙から削除されます。

③ My friendly Brother electronic typewriter
 $\blacktriangle \longleftarrow \longrightarrow \blacktriangle$

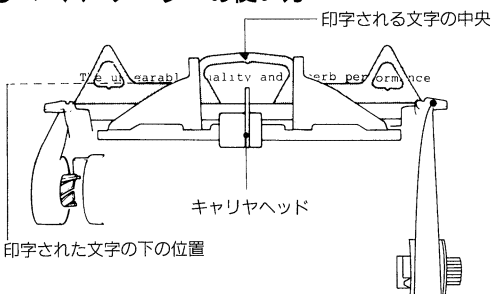
正しい文字“y”をタイプします。

④ My friendly Brother electronic typewriter
 $\blacktriangle \longrightarrow \longrightarrow \blacktriangle$

リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のタイプ位置へすばやくもどります。

- 注：1. 改行した場合は、オートコレクションできません。
 2. オートコレクション領域は、タイプ中の 65 文字のみ有効です。65 文字を越える場合は、先頭文字から消えます。
 3. コレクションキーを押し続けると、左にある文字が連続して削除されます。
 4. 下線付き文字、上付き・下付き文字はオートコレクションできませんが、バックスペースキーを使った重ね文字は、重ねた文字のみをオートコレクションします。

●ペーパーメーターの使い方

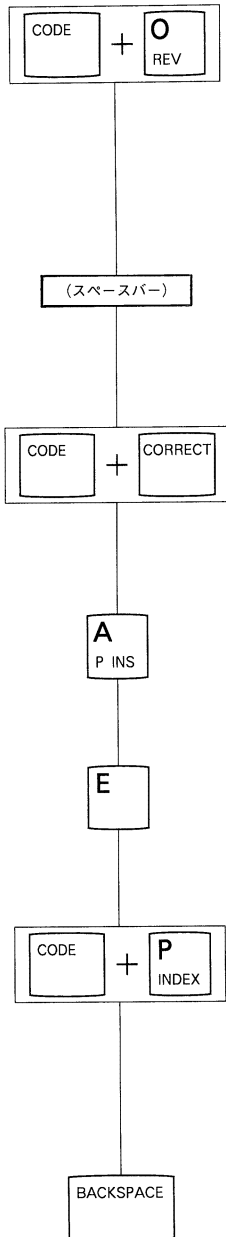


B. マニュアルコレクション

オートコレクション領域外の修正は、マニュアルで行います。

The unbearable quality and superb performance of this electronic typewriter will more than satisfy your every typing need. ▲———キャリアの位置

上の文章をそのままタイプしてください。修正したい単語のある行がオートコレクション領域外にありますので、マニュアルコレクションで修正を行います。“performance”の“a”を“e”に修正します。



- ①

The unbearable quality and superb performance of this electronic typewriter will more than satisfy your every typing need. ▲

コードキーを押しながらリバースインデックスキーを押して、修正したい文字の行まで用紙をもどします。
- ②

The unbearable quality and superb performance
Δ→▲

スペースバーを押して、修正したい位置までキャリアを移動させます。
- ③

The unbearable quality and superb performance
▲

マニュアルコレクションキー(コードキーを押しながらコレクションキー)を押します。
- ④

The unbearable quality and superb p rformance
▲

修正したい文字“a”をタイプします。用紙から“a”が削除されます。
- ⑤

The unbearable quality and superb performance
▲▲

正しい文字“e”をタイプします。
- ⑥

The unbearable quality and superb performance of this electronic typewriter will more than satisfy your every typing need. ▲

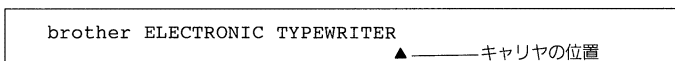
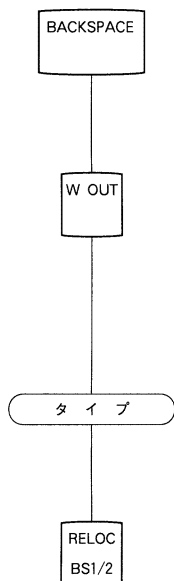
コードキーを押しながらインデックスキーを押して、修正前の行へもどします。
- ⑦

satisfy your every typing need. ▲←▲

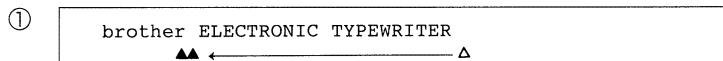
バックスペースキーを押して、キャリアを修正前のタイプ位置にもどします。

17.ワードアウト

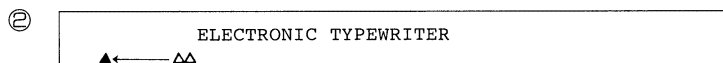
タイプ中の行であれば1つの単語全体を自動的に削除することができます。



上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとで、リターンキーは押さないでください。“brother”を“BROTHER”に修正します。

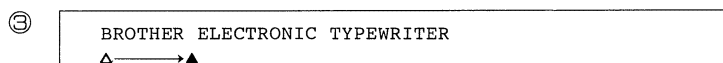


バックスペースキーを押して、キャリヤを“r”または“r”の直後のスペースの位置まで移動させます。

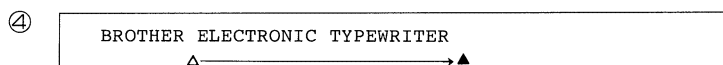


ワードアウトキーを押します。“brother”という単語が1文字ずつ削除されます。

注：削除している途中で中止したい場合は、コレクションキーを押してください。その位置でキャリヤが止まります。



新しい単語をタイプします。



リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のタイプ位置へすばやくもどります。

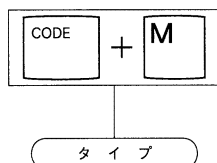
注：1. 改行した場合は、ワードアウトできません。

2. キャリヤが単語の途中の位置にあった場合、ワードアウトはその位置から単語の先頭まで削除します。

18.ビューモード

(隠し機能)

1/12 インチ用紙を送ることにより、タイプされた文字を見やすくすることができます。



A. ビューモードの設定

① コードキーを押しながらビューキー(☑)を押すと電子音が2回鳴り、ビューモードになります。キー入力終了してから1秒間キー入力が必要なければ、用紙が自動的に1/12インチ送られます。

② 文章をタイプします。用紙が自動的に1/12インチ戻され、タイプした文字が印字されます。印字後1秒間次のキー入力が必要なければ用紙が自動的に1/12インチ送られます。

注：センタリングモード、ライトマージンフラッシュモード中は、ビューモードを設定することはできません。

B. ビューモードの解除

もう一度、コードキーを押しながらビューキー(☑)を押すと、ビューモードは解除されます。

付 録

仕様

WORDSHOT V	
キ ー 数	46キー (96文字)
印 字 ス ピ ード	12文字/秒
1 行 印 字 数	〈2種類〉 (パイカ) 10文字/1インチ: 90文字 (エリート) 12文字/1インチ: 108文字
カセットリボン	〈2種類〉 コレクタブルカーボン(標準装備)、ナイロン
コレクションテープ	〈2種類〉 リフトオフ(標準装備)、カバーラップ
ラインスペース	1・1½・2行
用 紙 幅	最大326.9mm(12.8インチ)
印 字 幅	最大228.6mm(9インチ)
印 字 エ レ メ ント	デージーホイールカセット 英文仕様…ブルーアム10(標準装備) カナ英文コンビ仕様…カナ英文10(標準装備)
コ ピ ー 能 力	オリジナル+コピー 4枚
タ ブ セ ッ ト	最大8箇所
キ ー バ ッ フ ア	20文字
コレクションメモリー	65文字
寸 法	幅417mm×高さ134mm×奥行383mm
重 量	4.5kg(キーボードカバー付)
電 源	AC100V±10%
消 費 電 力	25W(50Hz/60Hz)

仕様は都合により変更する場合があります。

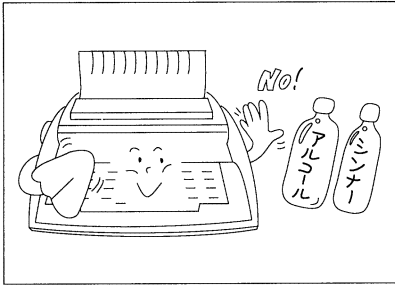
消耗品

消耗品は当社の製品をお使いください。当社の製品以外をご使用になり故障の原因となった場合は、保証できない場合があります。

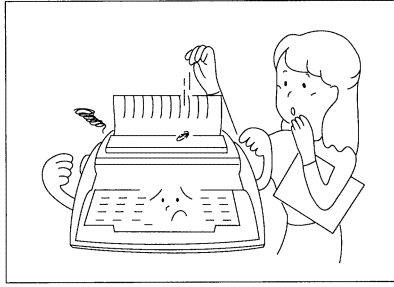
	部品コード	リボン番号
●カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン(黒)(標準装備)	U08822001 (1030)
	ナイロンリボン (黒)	U08832001 (1032)
●コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ(標準装備)	542792001
	カバーラップコレクションテープ	542803001
●デージーホイールカセット		

タイプライターの手入れと注意

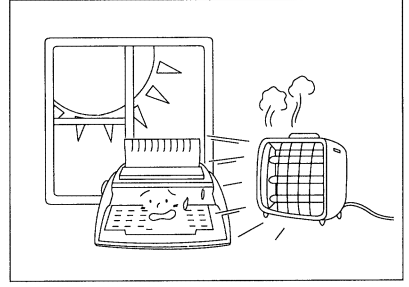
本機をいつも快適に、また長くご使用いただくために次の点にご注意ください。



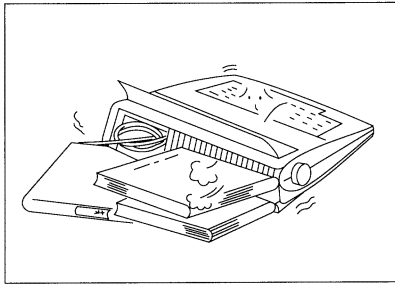
1. カバー、キーなどの掃除にアルコールやシンナー、その他有機溶剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。使用すると本体が変色、変形を起こす場合があります。ごみやほこりは軽くふく程度にしてください。



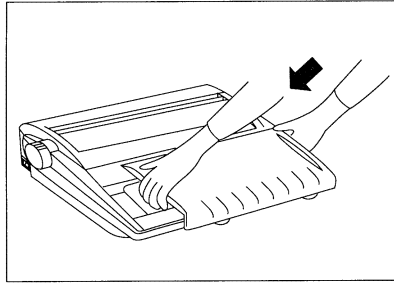
2. クリップや他の金属物を、本機の中に落とさないでください。故障の原因になる場合があります。



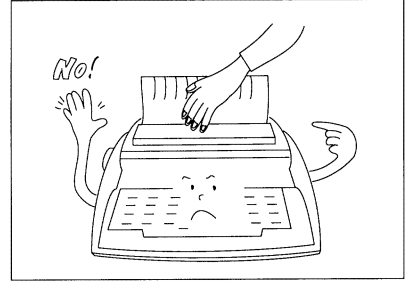
3. 直射日光の当たる場所、高温を発生する物の近くや振動の大きな場所では使用しないでください。



4. 本機の底や背のスリットは空気の出入口のため、物などを置かないでください。また、本機は水平に置いてください。



5. お使いにならない場合は、必ずキーボードカバーをセットしておいてください。



6. 危険ですので、タイプ中にキャリヤの中に入手を入れないでください。

こんなときには

製品については万全を期していますが、もし何か本体に異常がある場合は、下記の項目についてチェックしてください。それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●電源スイッチを〈ON〉にしても作動しない場合には……

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。〈電源スイッチ〉(8ページ参照)

●タイプしても印字しなかったり、文字が乱れている場合は……

1. デイジーホイールカセットが正しく挿入されているか確認してください。〈デイジーホイールカセット〉(9ページ参照)
2. カセットリボンがなくなっていないか? 消耗している場合は、新しいリボンと交換してください。〈カセットリボン〉(10ページ参照)
3. カセットリボンが正しく取り付けられているか確認してください。〈カセットリボン〉(10ページ参照)
4. デイジーホイールカセット・カセットリボン・コレクションテープの交換などでトップカバーを開閉したあとは、必ずコードキーを押しながらリセットキーを押してください。〈リセットキー〉(8ページ参照)

●コレクション機能がはたらかない場合は……

1. コレクションテープがなくなっていないか? 消耗している場合は、新しいテープと交換してください。〈コレクションテープ〉(11ページ参照)
2. コレクションテープが正しく取り付けられているか確認してください。〈コレクションテープ〉(11ページ参照)
3. 使用中のコレクションテープとカセットリボンが適合しているか確認してください。〈カセットリボン〉(10ページ参照) 〈コレクションテープ〉(11ページ参照)
4. デイジーホイールカセット・カセットリボン・コレクションテープの交換などでトップカバーを開閉したあとは、必ずコードキーを押しながらリセットキーを押して下さい。〈リセットキー〉(8ページ参照)

レイアウト例

センタリング(23 ページ)—— マージン間の中央に印字します。

キャプス(18 ページ)—— 数字と大文字を連続して印字します。

左マージン(15 ページ)—— 用紙に印字する左端です。

ラインインデント(22 ページ)—— 5文字分のスペースをあけます。

重ね文字(20 ページ)—— 重ね文字を印字します。

インデックス(21 ページ)—— 下付き文字を印字します。

ボールド(23 ページ)—— 太文字を印字します。

右マージン(16 ページ)—— 用紙に印字する右端です。

ライトマージンフラッシュ(24 ページ)—— 右マージンで右寄せ印字します。

タブ(22 ページ)—— 文章中、頭そろえて印字します。

リバースインデックス(21 ページ)—— 上付き文字を印字します。

オートアンダーライン(24 ページ)—— 同時に下線を印字します。

ホットゾーン(17 ページ)—— 右マージンから手前6文字です。

Institute of Chemistry and Physics
100 METRO STREET
NEW YORK, N.Y.

October 21th, 1994

Dear sir:

Thank you for your interesting paper on chemical formulas. Most people are no longer familiar with them.
I understand you did not have time to proofread the final copy, which accounts for the typing errors on pages 25, 57, and 59.

Item	Suggestion	Page/Line
volume II	volume III	25/15
$e=mc^2$	$e=mc^2$	57/31
sodium ($C_{20}H_{42}$)	eicosane ($C_{20}H_{42}$)	59/22

This quotation from The Merry Scientist is a comment on your presentation, which I am happy to forward you:

A brilliant piece of work, interesting to read without oversimplifying. Absolutely indispensable for every household. Mr. Boar is truly one of today's most fascinating scientists.

Yours sincerely,
O. Newton

索引

<p>あ インターナショナルキーボード 13 インデックスキー 14・21 エクストラ文字 18 エクスプレスパックススペースキー 14 オートアンダーラインキー 24 オートキャリヤリターンキー 17 AUTO(オートキャリヤリターン)モード 17</p> <p>か キャリヤ移動キー 14 重ね文字 20 カセットリボン 10 キーボードセレクター 13 キーボード部の名称とはたらき 1~2 機器構成(名称とはたらき) 5 キャプスキー 18 コレクションキー 25~26 コレクションテープ 11 こんなときには 29</p> <p>さ 索引 30 シフトキー 18 シフトロックキー 18</p>	<p>仕様 28 消耗品 28 シンボルキーボード 13 スペースバー 14 センタリングキー 23</p> <p>た タイプライターの手入れと注意 29 タブキー 22 タブクリアキー 22 タブセットキー 22 デイジーホイールカセット 9 デッド文字 19 電源スイッチ 6 トップカバー 8</p> <p>は ハーフバックスペースキー 14 パーマメントスペースバー 14・17 パーマメントハイフンキー 17 バックスペースキー 14 ピッチキー 12 ビューキー 27 ペーパーインサートキー 7</p>	<p>ペーパーメーターの使い方 25 ボールドキー 23 ホットゾーン 17</p> <p>ま マージン 15・16 マージンスケール 8 マージンリリースキー 15~16 マニュアルコレクションキー 26</p> <p>や 用紙の挿入 7</p> <p>ら ライトマージンキー 16 ライトマージンフラッシュキー 24 ラインインデントキー 22 ラインスペースキー 12 リセットキー 8 リターンキー 14 リバースインデックスキー 14・21 リロケートキー 14 レイアウト例 30 レフトマージンキー 15</p> <p>わ ワードアウトキー 27</p>
--	--	--

●アフターサービスについて

- ・お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- ・無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
それ以降の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- ・アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記のブラザー販売（株）〈各営業部〉へお問い合わせください。

各営業部

札幌営業部	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL : (011)222-7788
大宮出張所	〒330-0845	埼玉県大宮市仲町1-124-2	TEL : (048)640-3654
東京営業部	〒104-8790	東京都中央区京橋3-3-8	TEL : (03)3274-6911
名古屋営業部	〒467-0851	名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL : (052)824-3196
大阪営業部	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-4-2	TEL : (06)6543-9120
広島営業部	〒730-0021	広島市中区胡町4-28	TEL : (082)240-3781
福岡営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-3-12	TEL : (092)481-1560

- ◎ ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈各営業部〉へご連絡ください。

※ 上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

保証書について……

この製品には保証書がついています。保証書は販売店で発行いたしますから、お買い上げの販売店から必ずお受け取りいただき、大切に保存してください。

ブラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467
TEL : (052)824-2511(代表)